

授業科目(ナンバリング)	海外旅行実務(CB107) (実践的教育科目)			担当教員	大井田 かおり (実務経験のある教員)		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	1年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
本講義は、総合旅行業務取扱管理者試験の受験を目指す学生のための授業である。旅行実務(航空・鉄道・保険・ホテル・クルーズ等)と法令の範囲をカバーする。過去問や練習問題を多く解いて総合旅行業務取扱管理者試験の傾向に慣れることを目標とする。							①⑧⑨
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	総合旅行業務取扱管理者試験の旅行実務と法令の問題を解けるだけの実力がある。				・試験 ・課題 ・授業態度	20% 20% 10%	
情報収集、分析力	過去問から、総合旅行業務取扱管理者試験の出題傾向が予想できる。				・試験 ・課題 ・授業態度	10% 10% 10%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力	航空等の海外旅行実務や法令について説明可能なだけの知識を有することができる。				・試験 ・課題	10% 10%	
多様性理解力							
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
試験(40%)、課題(40%)、授業態度(20%)により、総合的に評価する。フィードバックは授業中もしくはポートフォリオで行う。課題の提出はポートフォリオで行う。							
授業の概要							
総合旅行業務取扱管理者試験の海外観光資源の過去問や練習問題をこなす。授業範囲は旅行実務と法令の内容となるが、計算問題も多い。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。							
教科書・参考書							
教科書&指定図書:『出入国法令と実務 旅行実務』(株) JTB 総合研究所 参考書: ユーキャンの国内・総合旅行業務取扱管理者 速習レッスン U-CAN (受験する人対象)							
授業外における学修及び学生に期待すること							
こちらの授業は、担当教員の国内・海外添乗員の経験と知見に基づく実践的な科目であり、総合旅行業務取扱管理者試験を受験する人が対象です。試験対策問題を解くことが授業の中心となります。試験は問題が多く、内容を理解していても時間が足りず涙をのむ人が少なくありません。時間内に解くには、ひたすら練習問題をこなして慣れるしかありません。JTB 総合研究所『出入国法令と実務 旅行実務』の内容が基本ですが、出やすい問題を整理しているのがU-CAN『ユーキャンの国内・総合旅行業務取扱管理者 速習レッスン』です。受験する人は両方を参照した方がいいでしょう。							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
	ガイダンス	総合旅行業務取扱管理者試験の概要について	総合旅行業務取扱管理者とは何か調べておく。
1	都市・空港・航空会社コード・EU・シェンゲン協定・ユーロ	知っておくべき外国旅行事情について学ぶ。特に「時差」についてその概念と実際について理解する	コードと EU について予習／復習を行う。
2	時差・フライト時間の計算	前回に続いて時差についての理解度を確認し、次に航空機の「所要時間」について説明する。具体的に例題を出解きながら理解を深める。	時差・フライト時間の計算について予習／復習を行う。
3	OAG 時刻表・Minimum Connecting Times	日本に発着している世界の航空会社と世界の主たる空港について学ぶ。航空運賃と等級や主たる航空機の種類と機内配置図等についても学ぶ	OAG 時刻表と最低乗継時間について予習／復習を行う。
4	世界の鉄道	国際航空時刻表として OAG がある。英語での記載ではあるが、要領をつかめば誰でも利用できるようになる。その具体的な見方を学ぶ。	世界の鉄道について予習／復習を行う。
5	ヨーロッパの鉄道時刻表・保険	前回学習したことについて、具体的に時刻表を使用して、発着時間を出してもらおう。同ルートでも曜日によってノンストップの直行便があれば、途中寄港する便もある。	ヨーロッパの鉄道時刻表と保険について予習／復習を行う。
6	ホテル・クルーズ	ヨーロッパ、アメリカ、カナダ、オーストラリアの各鉄道の概要について。列車の等級と寝台車等の設備について。旅行者用の割引運賃について学ぶ。	ホテルとクルーズについて予習／復習を行う。
7	小テスト	時差、フライト時間の計算、OAG 時刻表、Minimum Connecting Times について小テストを行う。	小テストのための準備をしてのぞむこと。計算が中心となる。
8	日本人の出入国・外国人の出入国	アメリカ、欧州及びその他の国の路線バスと観光バスについて、また日本発着の定期客船航路とクルーズについて学ぶ。	出入国について予習／復習を行う。
9	帰国時の税関手続きと税額計算	ホテルの種類とその特徴。ホテルの等級、客室タイプ、料金建て、ホテル関連用語を学ぶ。それらを通じてホテル選択の基準がわかるようになる。	帰国時の税関手続きと税額手続きについて予習／復習を行う。
10	旅券法(1)	旅券の新規発給申請等について学習する。	旅券の新規発給申請等について予習／復習を行う。
11	旅券法(2)	旅券の紛失・焼失の届出等について学習する。	旅券の紛失・焼失等について予習／復習を行う。
12	過去問と練習問題(1)	航空関係の問題を中心に過去問と練習問題を行う。	航空関係について予習／復習を行う。
13	過去問と練習問題(2)	鉄道・保険・ホテル・クルーズの問題を中心に過去問と練習問題を行う。	鉄道・クルーズ等について予習／復習を行う。
14	過去問と練習問題(3)	入国時・帰国時の問題を中心に過去問と練習問題を行う。	出入国について予習／復習を行う。
15	過去問と練習問題(4)	旅券の問題を中心に過去問と練習問題を行う。	旅券について予習／復習を行う。
16	定期試験	筆記試験	定期試験の準備をする。